

## *I am the resurrection and the life*



主の復活をお祝いするイースターに向けて、  
主の受難を偲びつつ四旬節を過ごして行きましょう。

今年は、2月22日に「聖灰の水曜日」を迎えます。  
「荒布をまとい、灰をかぶる」ことは、悔い改めや深い嘆きの  
印しとして、古くから行われてきました。この灰は前の年の  
「枝の主日」に用いた棕櫚の葉を焼いたものです。  
この日から「四旬節、受難節、レント」と呼ばれる、主イエス・

キリストの受難を覚える季節に入ります。「四旬」とは「40」を意味していて、イースターの前に  
6回ある日曜日を除く40日を指しています。もともとこの「40日間」は、洗礼を希望する人たちが  
信仰の教育・訓練を受ける期間でした。なぜ日曜日を除くかというと、日曜日は、キリストが甦ら  
れた復活の祝日の繰り返しとして守られる日だからです。それ程にキリストの復活は重大な意味  
を持っているのです。キリスト教の最大の祭りはクリスマスではなく、イースターなのです。です  
からキリストのみ苦しみを偲びつつ、キリストが全ての人々を愛して全てを捧げられたように、私  
たちも人々のこと、教会の働き、特に苦しんでいる人たち、悩んでいる人たちのことを覚えて、  
共に祈りつつこの季節を過ごしたいものです。

今年は下記のように聖週間、そしてイースターの礼拝を計画しています。この特別な期間に、  
皆様と共に主の十字架を覚えて過ぎ越しの食事礼拝を守り、イースターの礼拝を迎える事ができ  
ますよう、祈りつつご案内申し上げます。皆様のお越しを心からお待ちしています。

- \*4月5日 聖木曜日午後12時よりバーコーホールにて過ぎ越しの食事礼拝が行われます。  
人数に制限があります。予約の受付は4月1日までをお願いします。
- \*4月8日 復活祭日本語礼拝は 午前11時15分より、LCR礼拝堂にて行われます。  
当日は波多江美代子姉による特別賛美があります。

復活ルーテル教会・日本語部

9812 Hamilton Avenue

Huntington Beach, CA 92646-8014

日本語部直通電話: (714)964-1912

Email: [jministry@lcrhb.org](mailto:jministry@lcrhb.org)

主任牧師: E. Carl Zimmermann

日本語部牧師: 岸野豊

牧師・教区長補佐: 安達均

website: [california.lcrjm.com](http://california.lcrjm.com)

